

あさひほけんだより

おうちの人といっしょによみましょう

令和5年5月15日
横浜市立旭小学校
校長 益子 照正
養護教諭 堀江 菜央

けんしん ぜんがくねん 眼科検診 全学年

佐藤眼科の
佐藤 成明先生が
みてくださいます

目的 目の病気がないかを調べるため

日時・場所 5月16日(火) 場所:保健室

時程(5分間隔)	学年・組
13:00 ~ 13:20	2の1 → 2の2 → 2の3 → 2の4 【13:00 13:05 13:10 13:15】
13:20 ~ 13:40	1の1 → 1の2 → 1の3 → 7くみ 【13:20 13:25 13:30 13:35】
13:40 ~ 14:00	3の1 → 3の2 → 3の3 → 3の4 【13:40 13:45 13:50 13:55】
14:00 ~ 14:15	4の1 → 4の2 → 4の3 【14:00 14:05 14:10】
14:15 ~ 14:20微調整.....
14:20 ~ 14:40	5の1 → 5の2 → 5の3 → 5の4 【14:20 14:25 14:30 14:35】
14:40 ~ 14:55	6の1 → 6の2 → 6の3 → 終了 【14:40 14:45 14:50】

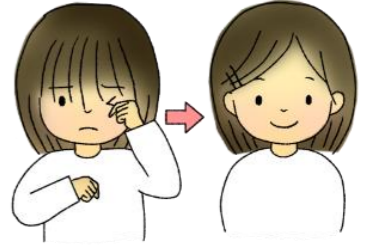
眼科検診のながれ

- ① 男女一緒にしずかに並びます。
- ② お医者さんの前で、自分であっかんべーをします。
(舌は出さなくて良いです)



お願い

- ・目をみる検診です。先生のいうことをよくききましょう。
- ・ならぶとき、教室にもどるとき、しずかにしましょう。
- ・検診のはじめと終わりには手をあらうか、消毒をしましょう。
- ・前がみは、とめるか切るかして目にかからないようにしましょう。
- ・めがねの人はすぐはずせるようにしておきましょう。
- ・直前に目をこすらないようにしましょう。
- ・「よろしくお願ひします」「ありがとうございました」のあいさつをしっかりとしましょう。



保護者の方へ

ご提出いただいた保健調査票を活用し、診断の参考にしていきます。提出へのご協力ありがとうございました。なお、眼科検診は、欠席した場合、今年度は「未検」となります。ご了承ください。今回は、眼科検診で受診のおすすめの出される、主な眼科疾患を紹介します。

結膜炎	細菌性とウイルス性に大別されます。ウイルス性のものは感染性があり、症状も強く、視力低下や目の痛みの他に、発熱やのどの痛みを伴うことがあります。
アレルギー性結膜炎	目のかゆみ、充血、めやになどの症状の他に、まばたき、まぶしさ、視力低下などの症状があります。
眼瞼炎	目の周囲がただれたり、かさついたり、切れたりして、かゆみや痛みを訴えます。
内反症	さかまつげの事です。異物感を訴えて、よく目をこすります。角膜(くろめ)を傷つけることがあります。症状が強い場合は、手術をして治す必要があります。
麦粒腫	まつげの付け根から、まぶたの中に化膿性細菌が侵入して生じます。ひどくなると、眼の周囲に感染が広がっていくことがあります。
霰粒腫	まぶたの中にあるマイボーム腺の肉芽性炎症です。麦粒腫と似ていますが、炎症が治まっても、しこりが残ることがあります。
眼位の異常	斜視：常にどちらかの目が斜めを向いている 斜位：通常は両眼ともに正常であるが、視線をささげられた目が斜めを向く に大別されます。場合によっては、弱視(眼鏡でもコンタクトレンズでも視力が出ない目)になることがありますので、詳しい検査が必要です。

(横浜市 令和5年度学校保健事務の手引きより引用)